

令和2年度地域包括支援センター運営状況調査への意見及び回答

資料	頁	問番号	委員	資料備考での説明	意見等の内容	市回答
1			筧		2-(4)地域ケア会議について全国平均81.5%、自治体平均68.0%と比べ、北本市23.1%、各包括22.2%とかなり低いのが定期的に開催していないのか。	月1回開催の計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催に至りませんでした。今年度はウェブを活用して開催しています。
1			金網		1組織・運営体制等という題名のみで1-(1)、1-(2)、1-(3)がまとめられたグラフになっていますが、それは意図的にそうしているのでしょうか？ 個別2-(1)～(4)は個別にグラフ化されていたため確認です。 また、2-(1)総合相談支援の前に2個別業務という題名が抜けているかと思います。	1については国において、まとめられた7項目のグラフとして整理されていることに準じて整理しました。 見出しについてはご指摘のとおりです。グラフ表記の簡素化のために省略しました。
2	1	11-1	金網	協議を行っているものの、各センターにより認識されていないため、双方において協議の必要性和、合意内容についての理解を深める。	センターの事業計画に対し、市から指摘したことが反映しているか。の問いにすべて×が付いて備考に各センターが認識していないとありますが、具体的には市がどのような指摘をしてセンターがなぜ認識しないのでしょうか。	市より事業計画に関し、地域ケア会議の実施方法や、感染症への対応方針を示して意見照会しましたが、メールでの確認であったため、協議として受け止めていませんでした。
2	1	16	金網	3職種に準ずる者を含めての確実な配置に努める。	3職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)の配置について西センター、きたもと寿苑が×になっているがこれによって業務に支障をきたし、市民が不利益を被ることはないのでしょうか。	3職種の確保が困難である等の場合は、それぞれに準ずる者の規定を満たす人員を配置することになっており、本市もそれに倣って業務を実施しています。
2	5	43	金網	県等の研修の活用について協議をしているものの、業務負担が伴うため個々のセンターでの実施に至っていない。	研修会、事例検討会等がすべて×になっていますが業務負担が伴う場合は実施しなくてもよいのでしょうか。 また、実施しないことで不利益は発生しないのでしょうか。 実施できるようにするための改善策は検討しているのでしょうか。	開催計画については策定していませんが、県等が主催する研修については適宜周知を行い、参加してもらっています。今後はより事業所職員の参加を促し、職員の質の向上を図っていきます。
2	5	45	金網	運営推進会議が意見交換の場にもなっているが、各センターに認知されていないため、周知する。	運営推進会議というのはどのような組織体でしょうか。各センターに認知されていないのはなぜでしょうか。	地域密着型サービス事業所に設置され、事業所が提供しているサービス等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスとすることを目的としています。事業所職員、利用者、家族、民生委員、町内会役員、老人クラブの代表、市職員、包括職員等により組織されています。話題が地域課題等に及ぶこともあり、意見交換の場となっていますが、各センターとの認識の齟齬があるため、解消に努めます。
2	5	46	金網	感染症の影響により、多数の市民を対象としての講座に支障があった。	出前講座等を実施したところはどのような工夫をして開催したのでしょうか。	出前講座の取組ではセンター別に相違はありませんが、地域におけるニーズにより実績が左右されます。
2	6	50,53 54,55 56	金網	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催に至らなかった。	地域ケア会議が新型コロナ感染拡大防止のため開催できない。とありますが、例えばZoom会議等ではできないのでしょうか。 他市では、やっている所もあるようなので、どのように工夫しているのでしょうか。 今後このような状態が続くことが予想されます。 どうしたら地域包括支援センターが市民のためにより効果的に機能していくか、皆で考え「報告・相談・連絡」がスムーズにできるようになってほしいです。	令和3年度から主催者アカウントの取得等招待環境を整え、Web会議を主催できるようになりました。現在、新型コロナウイルス感染症拡大期には集合型からWebに会議手法を変更し、開催しています。
2	5-7		筧		新型コロナウイルス感染予防のために開催していないこともあるが、北本市は包括と居宅との定期的な集まりもなく、市、包括、居宅との関係が希薄だと感じる。他市では毎月包括と居宅が集まり困難事例や地域の情報の共有などをしていた。 地域包括ケアを推進するために、もっと介護事業所なども含み、横のつながりをつくった方が良いのでは。	例年行っていた介護支援専門員連絡部会や介護サービス事業所連絡部会を新型コロナウイルス感染予防のため実施していないため、より希薄と感じやすくなっています。感染症対策と両立した方法を模索していきます。
2	7	市指標69	松本	検討内容を取りまとめ、センター等と共有する仕組みはできているが、住民向けに公表はしていない。	居住地域の高齢者の課題については、市民の関心も高いと思いますので、地域ケア会議の地区毎の検討内容の概要を、市報等で公表することは良いことではないかと思います。	現在、実施している地域ケア会議は、高齢者個人の事例を基に、助言者である各分野の専門職(理学療法士等)と支援内容を検討し、高齢者の自立支援に向けたケアマネジメント支援を行っています。個々の事例について検討を積み重ね、共通する高齢者の課題を地域課題として把握に努めます。
			鈴木		以前北北共済病院にセンターがあったが社協本部内に変わった為遠方になった。今後移転する計画はあるのか。 例、栄小内又は学習センター内	北北社協が所在する総合福祉センターは、今後移転を検討することとされていますが、北北社協の移転については現時点で具体的な計画はありません。
			畠山		各センターの運営は、おおむね評価できるものとする。 民自協議会では各センターとの個別支援情報、連携は評価できる対応になっている。 コロナ問題もあるが地域ケア会議での活動が不十分。是非これからも継続、力を入れて活動を。 提案ですが、運営協議会メンバーも書面だけでは実情、実感が判断しにくい。実態把握活動を個別で把握するのも難しい。 今後、どこかの場面でセンター責任者等との意見交換の場も設けるべきかと考える。	引き続き感染症の状況等を踏まえながら、包括支援センターの業務を適切に評価いただける手法について検討を進めます。
			根岸		資料については意見はありませんが、コロナで運営が難しくなる事業所が出ることもあると思うので、各事業所間で、一時的な人員の流出を考えてもよいかと思います。	事業所からの今後の意見を踏まえて検討の必要性を判断いたします。